

12 CoRE & CDL TIMES

発行日：2021年10月1日

地域と大学をつなぐ、鳥取をもっと好きになるラジオ。

鳥取大学CoREラジオ



50回 記念 対談

日曜18時からFM鳥取で放送されているCoREラジオ。この番組は、鳥取大学 地域価値創造研究教育機構（以下、「機構」）が、番組を通して地域と大学をつなぐことで「鳥取をもっと好きになってもらいたい！鳥取大学をもっと身近に感じてほしい！」そんな想いで制作している番組です。鳥取大学の様々な先生をゲストに迎え、研究のことはもちろん、趣味などあれこれをこれまで伺ってきました。2018年10月に始まったCoREラジオは、8月で50回を数え、10月で丸3年を迎えます。そこで、これまでの思い出などを振り返ってみよう！・・・と思ったのですが、「いつもいろんな先生を紹介してもらっているけれど、パーソナリティーの山下さんを紹介したことがない！」ということで、山下さんのことをあれこれ伺いするとともに、制作に携わる3名でこれまでの思い出を振り返ってみました。



写真左より

機構 地域連携URA/特命准教授 谷口美也子
CoREラジオパーソナリティー 山下弥生
機構 地域連携URA/特命助教 堤晴彩

堤：山下さん、今日も素敵な着物を着られておられますが、山下さんってとっても多才で趣味が多いイメージがあるんです。最近ではどんな趣味がありますか？

山下さん：最近の趣味は、和服、サーフィン、ゴルフ、らっきょうの根切り、漬けることです！

サーフィンは去年の夏から始めたんですが、本格的には今年から行き始めました。

堤：すごくて気になることばかりですが、らっきょうの根切り・・・(笑)
らっきょうの根切りの魅力って何ですか？

山下さん：サクッと切れることや達成感です。らっきょうの根切りは今年で3年目になるんですが、早く且つ奇麗に作業をしないといけないんです。そうして作業をしていくうちに、たくさん入っていたらっきょうの箱が空になると達成感と上達していることが実感できるんです。あと、根切りに使う刃物は自分で研がないといけないんですが、最初は刃物の研ぎ方がわからなかったもので、刃物の研ぎ方を教えてくれる教室にも通いました。

堤：刃物を研ぐ教室にまで・・・
あと、「漬けること」ってなんですか？

山下さん：果物をたくさん買ったときは、蜂蜜や砂糖につけてシロップにするんです。そして炭酸で割って飲んだり、ヨーグルトに入れたりして食べたりしています。ちなみに家にはいつもらっきょう漬けが常備されています笑

谷口：本当に幅広い趣味をお持ちですよね（*）もっと聴きたいですが、CoREラジオのお話も伺っていきたくと思います。CoREラジオは私たちが機構に来る前に始まっていて、山下さんが初回からずっと携わってきておられます。そもそも、この番組ができた経緯は？

山下：以前機構におられた前波准教授がFM鳥取の別番組に出演された時に、元々ラジオ好きだったのもあるんですが、鳥取に広く大学のことを知ってもらうためにはラジオによる発信もいいな、とあっていただき、お話をいただいたのがきっかけです。

堤：私たちも、機構の一員となってすぐに出演させていただき、その後ちょうど番組が始まって半年経った頃に担当を引き継ぎました。

谷口：その頃は1か月に2名のゲストの方に出演していただいていたんですよ。

山下：そうでしたね。パーソナリティーも2人体制だったんですよ。私はどちらかという補助で・・・（2020年3月まで、濱井丈栄さんがメインパーソナリティを務める。濱井さんの産休・育休により現在の体制に。）

堤：ゲストと私たち、パーソナリティーの方々とのスケジュール調整が大変でした笑。それも理由ですが、ラジオによる発信ということ考えたとき、広く多くの方に聴いていただきたいという趣旨からすると、再放送を多くしたほうがいいのではないかと、ということで今のスタイルに落ち着きました。

山下：ひとりひとりのゲストに、じっくり向き合っただけ番組を作ることができています。

谷口：これまで出演いただいたゲストは約57人になるのですが、ほとんど専門分野が重複していないんですよ。とても幅広い分野の話になっているのですが、一番印象に残っている回はありますか？

山下さん：コロナが蔓延するずっと前に収録した児玉先生の回（第7回 2019年1月放送）ですかね。児玉先生が研究されているローカル酵母を使って製品化されたビールを持ってきてくださって試飲しながら収録したんですが、みんなちょっとフワッと酔ってしまって・・・ほろ酔いで楽しく、大盛り上がりでした笑

あと、三浦先生の回です（第3回 2018年11月放送）。三浦先生の趣味がアリを飼育することとおっしゃってたんなんですが、「アリのコロニーが、アリのコロニーが」と連呼していたことが特に印象に残っています笑。でも、他のお話も本当に様々な分野のお話なので、毎回楽しく伺っています。

堤：さすが多趣味な山下さん。でも、これまで聴いたこともない分野についてゲストとお話されるのは本当に大変だと思いますが、気を付けておられることはありますか？

山下さん：打ち合わせしたことを本番に落とし込むのは大変です。大学の先生はそれぞれ別の分野の専門家ですので、どうしても話が専門的になっていきます。それが「専門に研究している」ということなので当然なのですが、私はたとえ研究の全部を理解することはできなくても、何を大切にされているのかとか、話したいこと、その先生が向かっている姿勢はわかる気がするので、リスナーの皆さんにわかりやすく伝えられるように、「それってこういうことですか？」と質問したり、一般的な例に例えてみたりして噛み砕くように気をつけています。ラジオは写真も図や絵も見えないので、言葉でいかにわかるように説明できるかが大事なんです。専門的なことを理解するのは大変だけど楽しいです！

(次ページに続く)

谷口：確かに！山下さんはよく例えをされるなど日頃から思っていました、意識しておられたんですね。

堤：ゲストのお話を、本当にわかり易く引き出してくださっていますよね。私はお話なのですが、リクエスト曲も毎回楽しみにしています。

山下さん：曲のチョイスにもお人なりが出ますしね。親しみを感じられるので私も毎回楽しみにです。

堤：リクエスト曲が印象的だったゲストは誰ですか？

山下さん：これもまた三浦先生の選曲は面白かったです。世界名作劇場のロミオの青い空のオープニング曲の「空へ」をリクエストされたんですが、なんとその曲が三浦先生の息子さんのテーマソングだと言っておられて。生まれる前から息子さんの名前とテーマソングを決めてたとおっしゃって

ましたよね。フランス語を専門とされている清水先生（第38回 2020年5月放送）の選曲も面白かったですね。フランス語の授業で学生さんたちに劇をしてもらった歌と言っておられてとても印象的でした。

谷口：最後になりますが、初回から3年間携わってこられて、鳥取大学をどう感じておられますか？例えば最初に抱いていたイメージが変わったとか。。。

山下さん：いろんなゲストのお話を聞いて、「こういう人生もあるんだな、素敵だな」と思いました。生きていく上で自分の好きなことを探求して継続できる人って一握りだと思うんですが、大学にはそんな方たちがたくさんいるんだなと思うし、それにその好きなことが人のために役立つことがすごいなって。人のために役立つことをしなきゃとか、そう言わなきゃいけない感を日常では感じることもあるんですが、大学の先生たちは自

分の好きを追求した結果、人のために役に立っているんだなって。結局どっちも着地点は同じなのに。自分の好きを追求することは大事なんだってことがこの番組を通してわかりました。自分の好きを深掘りしていくと先生たちみたいな人生があるのかなと。



第1回から第50回の内容はコチラから



第1回から第50回のアーカイブはコチラから



山下弥生
株式会社FM鳥取・RADIO BIRD
取締役副局長 兼 アナウンサー

岡山県出身。フリーラジオパーソナリティ兼フリー営業として、岡山市・倉敷市のコミュニティFMで修行。2006年に鳥取に移住し、FM鳥取・RADIO BIRDの立ち上げから携わる。座右の銘は『継続は力なり』。鳥取移住歴は今年で15年目。



ロジャー：FM鳥取の番組には声の出演もありますが、CoREラジオでは収録や編集等の音響作業全般を担当して下さっているメンバーです。



放送回	初回放送日	所属	ゲスト
1	2018/10/7	地域学部	東根ちよ講師
2	2018/10/21	地域学部	岡村知子准教授
3	2018/11/4	工学部	三浦政司助教
4	2018/11/18	地域学部	木野彩子講師
5	2018/12/2	工学部	伊福伸介教授
6	2018/12/16	医学部	井上和興講師
7	2019/1/6	連合農学研究科	児玉基一朗教授
8	2019/1/20	地域価値創造研究教育機構	谷口美也子准教授
9	2019/2/3	農学部	堤晴彰助教
10	2019/2/17	地域学部	白石秀壽講師
11	2019/3/3	地域価値創造研究教育機構	清水克彦准教授
12	2019/3/17	地域価値創造研究教育機構	前波晴彦准教授 成清仁士准教授
13	2019/4/7	菌類きのこ遺伝資源研究センター	遠藤直樹助教
14	2019/4/21	農学部	有馬二郎教授
15	2019/5/5	医学部	深田美香教授
16	2019/5/19	地域学部	村田周祐准教授
17	2019/6/2	農学部	西村亮助教
18	2019/6/16	工学部	桑野将司教授
19	2019/7/7	工学部	長曾我部まどか助教
20	2019/7/21	地域学部	筒井宏樹准教授
21	2019/8/4	医学部	徳嶋靖子助教
22	2019/8/18	農学部	野波和好准教授
23	2019/9/1	工学部	八木寿梓准教授
24	2019/9/15	医学部	角南なおみ助教
25	2019/10/6	地域学部	鈴木慎一朗准教授
26	2019/10/20	農学部	近藤謙介講師

*所属・職位は放送当時のものです。

27	2019/11/3	国際交流センター	池田玲子教授 御館久里恵准教授
28	2019/11/17	工学部	中井唱准教授
29	2019/12/1	地域価値創造研究教育機構	森田将悟主任 村瀬謙介コーディネーター
30	2019/12/15	乾燥地研究センター	藤巻晴行教授
31	2020/1/5	医学部	天野宏紀講師
32	2020/1/19	地域価値創造研究教育機構	成清仁士准教授
33	2020/2/2	農学部	永松大教授
34	2020/2/16	医学部	萩野浩教授
35	2020/3/1	子どもの発達・学習研究センター	儀間裕貴講師
36	2020/3/15	地域学部	高橋健司教授
37	2020/4/5	連合農学研究科	児玉基一朗教授
38	2020/5/17	地域価値創造研究教育機構	清水まさ志准教授
39	2020/9/6	地域価値創造研究教育機構	三浦政司准教授
40	2020/10/4	菌類きのこ遺伝資源研究センター	遠藤直樹助教
41	2020/11/1	研究推進機構研究戦略室 医学部附属病院新規医療研究推進センター	古賀敦朗准教授 才木直史コーディネーター
42	2020/12/6	農学部	木原奈穂子講師
43	2021/1/3	農学部附属フィールドサイエンスセンター	山口武視教授
44	2021/2/7	地域学部	住川英明教授
45	2021/3/7	医学部	佐藤研吾講師
46	2021/4/4	農学部	日置佳之教授
47	2021/5/2	工学部	酒井武治教授
48	2021/6/6	医学部附属病院	藤井政至助教
49	2021/7/4	乾燥地研究センター	石井孝佳講師
50	2021/8/1	工学部	高部祐剛准教授

2021
7/10
～9/25

とっとり県民カレッジ連携講座

鳥取大学サイエンス・アカデミー

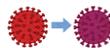
鳥取大学サイエンス・アカデミーは、とっとり県民カレッジや市町村、大学などの高等教育機関などが連携し開催する講座です。新型コロナウイルスの影響もありましたが、感染防止対策の徹底(事前申込制、会場入室時の手指消毒やマスク着用の徹底、健康観察の徹底、ほか)を行い、以下の2講座を開催致しました。

Vol. 502
7/10

新型コロナウイルス変異株の流行とワクチン接種 医学部 副学部長 景山 誠二 教授

鳥取県立図書館主催シンポジウム「新型コロナウイルスとの闘い～アフターコロナにおける図書館の可能性を考える～」との共催で、基調講演をしていただきました。

時間：13:30～16:00 会場：鳥取県立図書館 2階大研修室



Vol. 504
9/25

科学技術を支える「単位」 技術部 工学技術部門 笠田 洋文

技術と科学に非常に重要となる「単位」のお話しをしていただきました。

YouTubeによるオンライン配信

時間：10:30～12:00 配信場所：地域価値創造研究教育機構1F多目的室



鳥取大学放送部

とり研 撮影中



サイエンス・アカデミー501回目から、登壇講師の研究室を紹介する動画「とり研」が、NCN日本海ケーブルネットワークで放送されています。制作には、鳥取大学放送部、学生人材バンクが協力し、学生目線で発信しています。放送後はYouTubeで公開予定です。お楽しみに！

9/27 農学部 美藤友博先生の撮影

山田百々花（地域学部3年・部長）、佐藤悠希（地域学部3年・副部長）、河野優花（農学部2年）

撮影で面白かった点、大変だった点はなんですか？

山田：今日は農学部の先生の撮影でしたが、自分は地域学部ですので、普段とは違う分野の先生の研究を見ることができて興味深く楽しかったです。私はマイクを向けてレポートするのが好きですね。

河野：私も同じなのですが、自分が学んでいる分野とは違った研究を、こうした撮影を通して少しでも学べたことがとても面白かったです。大変な点は、私は機械が苦手なので、カメラなどの機材の扱いや、構図を考えたり、打ち合わせで先生にこちらの意図をどう伝えるか、先生の話はどう引き出したら良いか、考えるのが難しかったです。

佐藤：私もみんなと同じで、自分の所属する地域学部だけでは見られないものが見られて面白いです。私は機械が好きなので、医学部や農学部などの研究機材を見ることができて楽しいです。NCN日本海ケーブルネットワークさんから、カメラとかマイクとかプロが使う機材を私たち学生に使わせてもらえてとても感謝しています。

9/30 医学部 河月稔先生の撮影

佐藤悠希（地域学部3年・副部長）、幡出うた（農学部1年）、野添姫七美（地域学部1年）

初めての撮影の感想はどうでしたか？

幡出：今日の取材で楽しかったことは、普段接する機会のない先生のお話しを開けたところ。大変だったところは、どう立ち回っていいかわからなかったところや、機材に初めて触れたので何のボタンとか全然わからなかったところです。

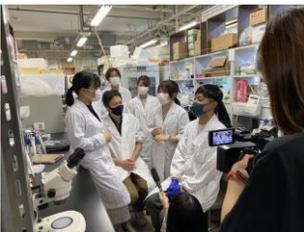
野添：私は高校時代も放送部だったので取材とかの経験はあったのですが、今日みたいな本格的な機材を使ったのは初めてだったので、良い経験になりました。また、自分の専門外の先生のお話しが聞いて貴重でした。

動画のフォーマットはどのように決めたのですか？

佐藤：動画の構成を決めるために、他大学で似た企画を行っている動画を参考にしました。「とり研」独自の持ち味をだすため「鳥犬の良いところ」という項目を入れました。撮影に関しては、NCN日本海ケーブルネットワークさんでインターンシップをした経験が役立ちました。やはりプロは、構図とかすぐに決めて短時間でバツと撮って帰られたので、そうできたらいいなと思いました。編集作業はとても楽しかったです。専門外の先生の話をもとめるので、自分でもお話しを理解しながら人にもわかるように伝えるのが難しかったです。自信作のフォーマットです。私は3年生で部活ももうすぐ引退ですが、後輩には、いろいろな先生の話をお聴ける貴重な機会なので、これからもぜひ続けていって欲しいなと思います。



左から、山田さん、佐藤さん、河野さん



和気あいあいとした美藤研究室



左から、佐藤さん、幡出さん、野添さん



事前に話す内容を考えてくださっていた河月先生



佐藤さんが制作した「とり研」第1回工学部 松永忠雄先生の動画をYouTubeでぜひご覧ください！



鳥取大学サイエンス・アカデミー

令和3年度10月～3月分プログラムのお知らせ

開催日	タイトル・講師
10/9	他者と出会いなおす想像力-社会的分断を越境する 地域学部地域学科 准教授 稲津 秀樹
10/23	中高齢者で不足しがちなビタミンのおはなし 農学部生命環境農学科 助教 美藤 友博
11/13	小形垂直軸風車のウインドファームの可能性について 工学部機械物理系学科 教授 原 豊
11/27	グローバル時代における「地域」の可能性-実践教育の観点から 地域学部地域学科 講師 アレクサンダー・ギンナン
12/11	地震のしくみと地震の備え 工学部社会システム土木系学科 准教授 野口 竜也
1/8	アートが彩る地域医療 医学部医学科 助教 紙本 美菜子
1/22	認知機能の低下を防ぐことはできるのか？ 医学部保健学科 助教 河月 稔
2/26	鳥取大学の教育・研究を陰で支える黒子～技術職員～の紹介 技術部化学バイオ・生命部門 松浦 祥悟 / 枡見 吉朗
3/12	「地域資源」ってなに？どうやって活用するの？ -「草刈り隊」によるリアルな地域活性化術- 農学部生命環境農学科 講師 木原 奈穂子
3/26	いくつになっても おひとり様になっても！地域で健やかに暮らすヒント ～県内のある地域における調査結果から～ 医学部保健学科 助教 徳嶋 靖子

◆日時：毎月第2・4土曜日10:30～12:00 ◆一般向け、聴講無料

◆会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室（鳥取市尚徳町101）

※下記の図書館へライブ中継いたします。

米子市、倉吉市、琴浦町、新温泉町、第4土曜日のみ：大山町（10月休講）、南部町（キナルなんぶ内）

※ zoomを利用してご自宅でも視聴できます。

申込フォームは
こちらから



★事前申し込み制です！開催の前の月から受付を開始いたします。

申し込みの締め切りは開催日の前日正午です。

★コロナウィルス感染状況により、中止または延期、開催方法を変更する場合がございます。



CoREの活動やイベント情報盛りだくさん！ホームページ随時更新中！
<https://www.core.tottori-u.ac.jp>



Instagram
@cdltottori

CDL
(コミュニティ・
デザイン・ラボ)
とは？

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスムーズに、
活発に行っていくための拠点です。
地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を
目的に使用することができます。

平日9時30分から18時までで専用予約（貸切）がない場合は、
随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等を
していただけます。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐの広報センター内)
TEL：0857-31-5870
Mail：chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp